



ASAHI

INTECC

Your dreams. Woven together.

2008年6月期 中間決算説明

2008年2月18日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



1 . 2008年6月期(中間)決算の概要

2 . 2008年6月期(通期)業績見通し

3 . 業績下方修正の要因・背景について



2008年6月期(中間)決算のポイント(連結)

- 売上高は6,086百万円(前年同期比10.1%増)と堅調に推移
 - 全セグメント(メディカル、メディカルデバイス、インダストリアルデバイス)で増収
- 医療機器分野を中心とした売上原価の増加を主因に大幅な減益
 - 営業利益は660百万円(前年同期比40.4%減)
 - ▶ 営業利益率は前年同期比9.3ポイント低下(売上総利益率は同9.2ポイント低下)
 - ▶ 販管費は人件費及び販促費を中心に若干増加するが当初計画の範囲内
 - 経常利益は653百万円(前年同期比44.3%減)
 - 中間(当期)純利益は240百万円(前年同期比61.2%減)
 - ▶ 退職給付債務の算定方法変更(簡便法→原則法)により差額165百万円を特損計上
- 今期業績計画を下方修正
 - 今期(2008年6月期)の売上高は前期比3.5%増、営業利益は同38.2%減の見通し
 - ▶ 下期以降のアボット社との取引減少を見越した減産に伴う利益率の低下を見込む



中間決算ハイライト(連結)

	2007年6月期中間実績		2008年6月期中間実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2007/8/10	修正計画 2008/2/1	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		期初計画比
							増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	5,527	100.0	6,168	6,080	6,086	100.0	+559	+10.1	△1.3
売上総利益	3,303	59.8	-	-	3,082	50.6	△221	△6.7	-
営業利益	1,108	20.1	1,020	650	660	10.8	△448	△40.4	△35.3
経常利益	1,173	21.3	977	650	653	10.7	△519	△44.3	△33.1
中間 (当期)純利益	620	11.2	521	240	240	4.0	△379	△61.2	△53.8
EPS	39.12 円	-	32.90 円	15.17 円	15.18 円	-	-	-	-



セグメント別売上高

	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	3,325	60.2	3,664	60.2	+338	+10.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	1,000	18.1	1,113	18.3	+113	+11.3
<医療機器分野>	4,325	78.3	4,777	78.5	+452	+10.5
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	1,201	21.7	1,309	21.5	+107	+8.9
合計	5,527	100.0	6,086	100.0	+559	+10.1



セグメント別営業利益

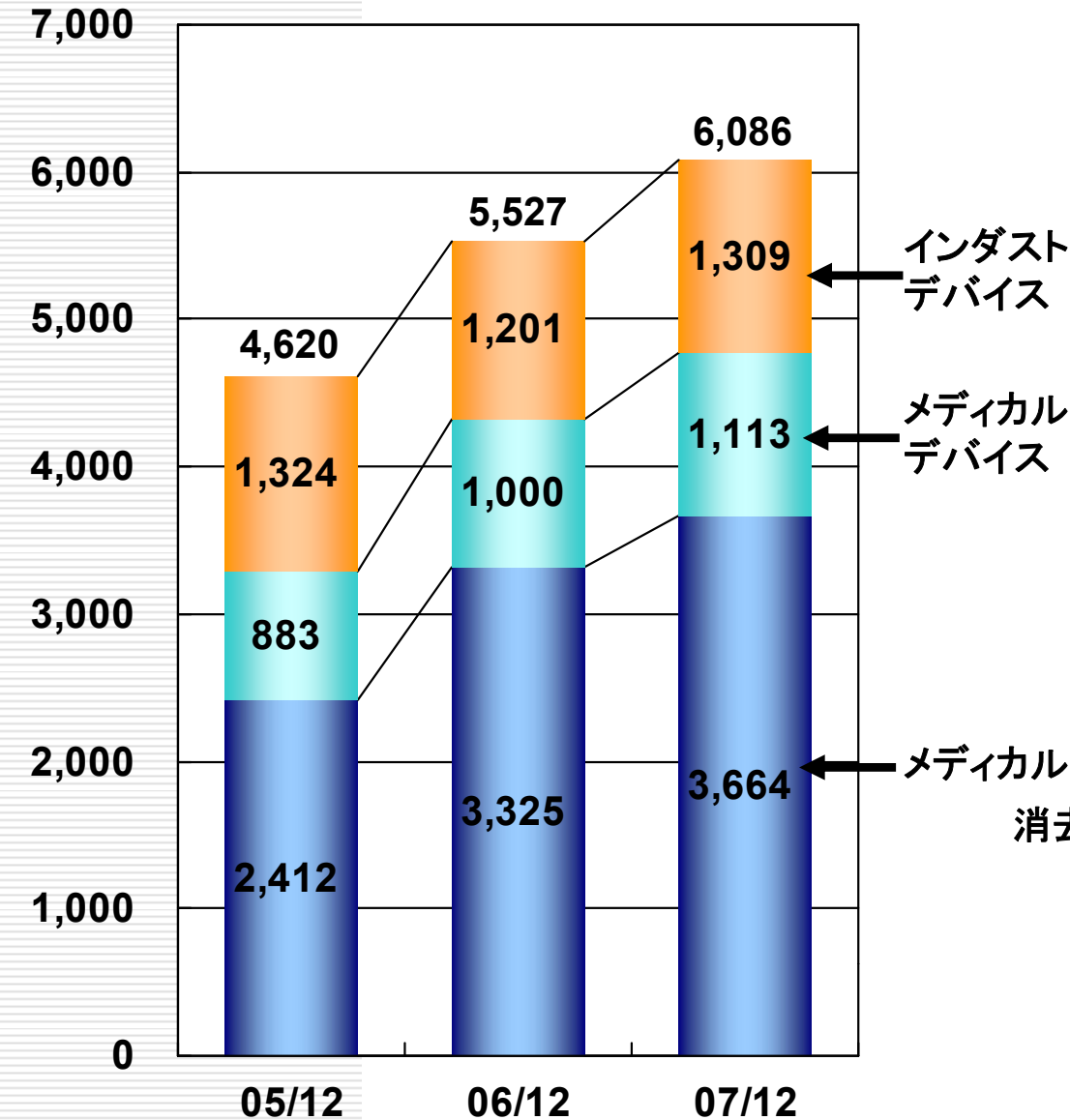
	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	1,141	70.0	854	69.5	△287	△25.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	276	16.9	149	12.2	△126	△45.7
<医療機器分野>	1,417	86.9	1,003	81.7	△413	△29.2
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	214	13.1	225	18.3	+11	+ 5.3
計	1,632	100.0	1,229	100.0	△402	△24.7
消去・全社	△523	-	△569	-	-	-
合計	1,108	-	660	-	△448	△ 40.4



セグメント別の収益状況

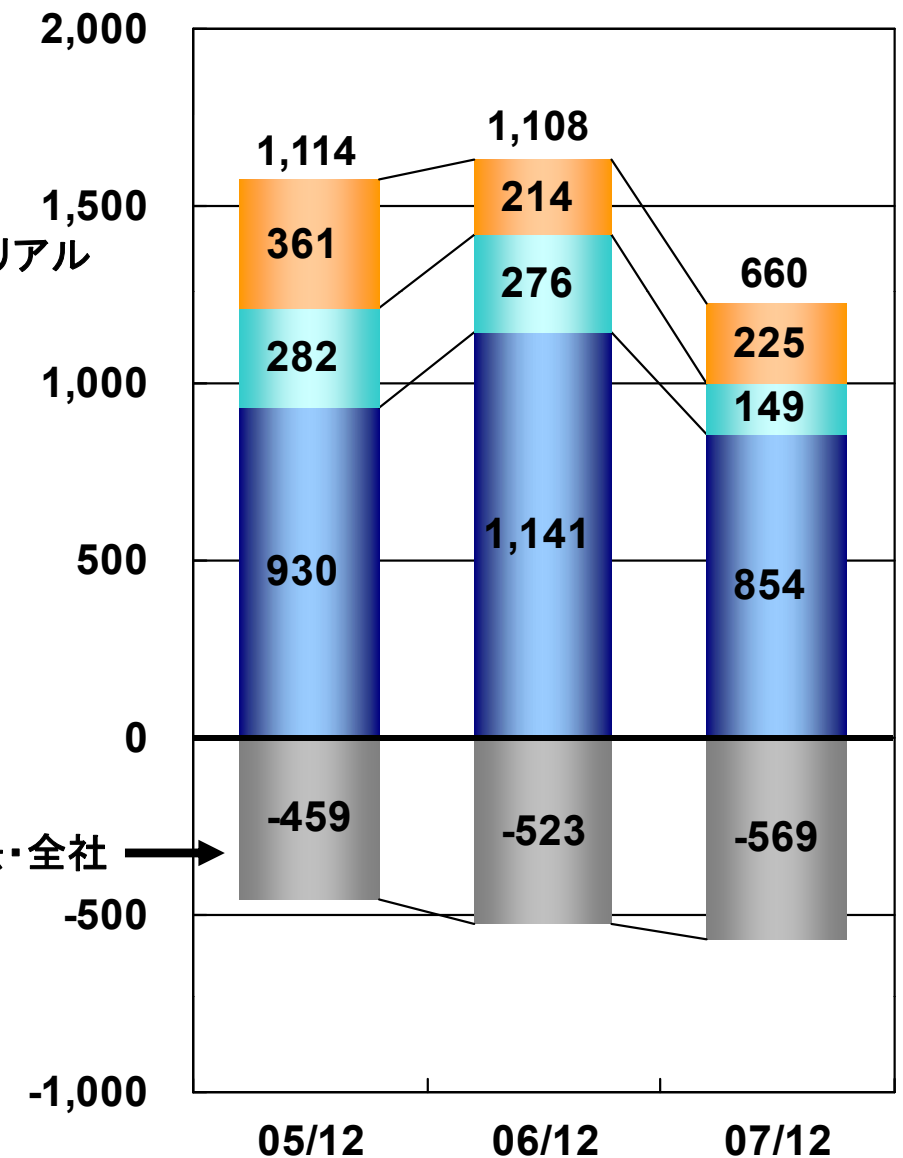
(百万円)

【売上高】



(百万円)

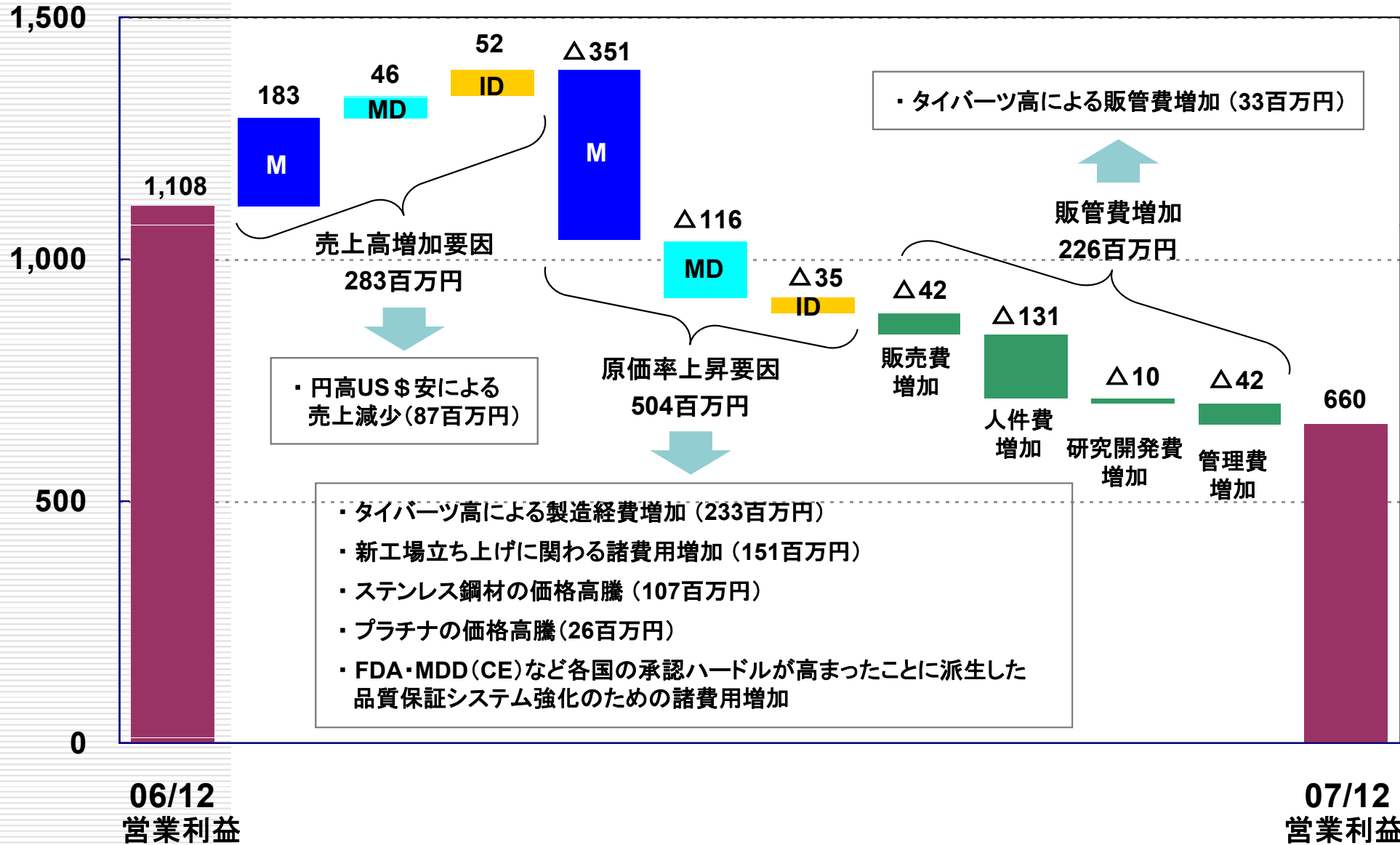
【営業利益】





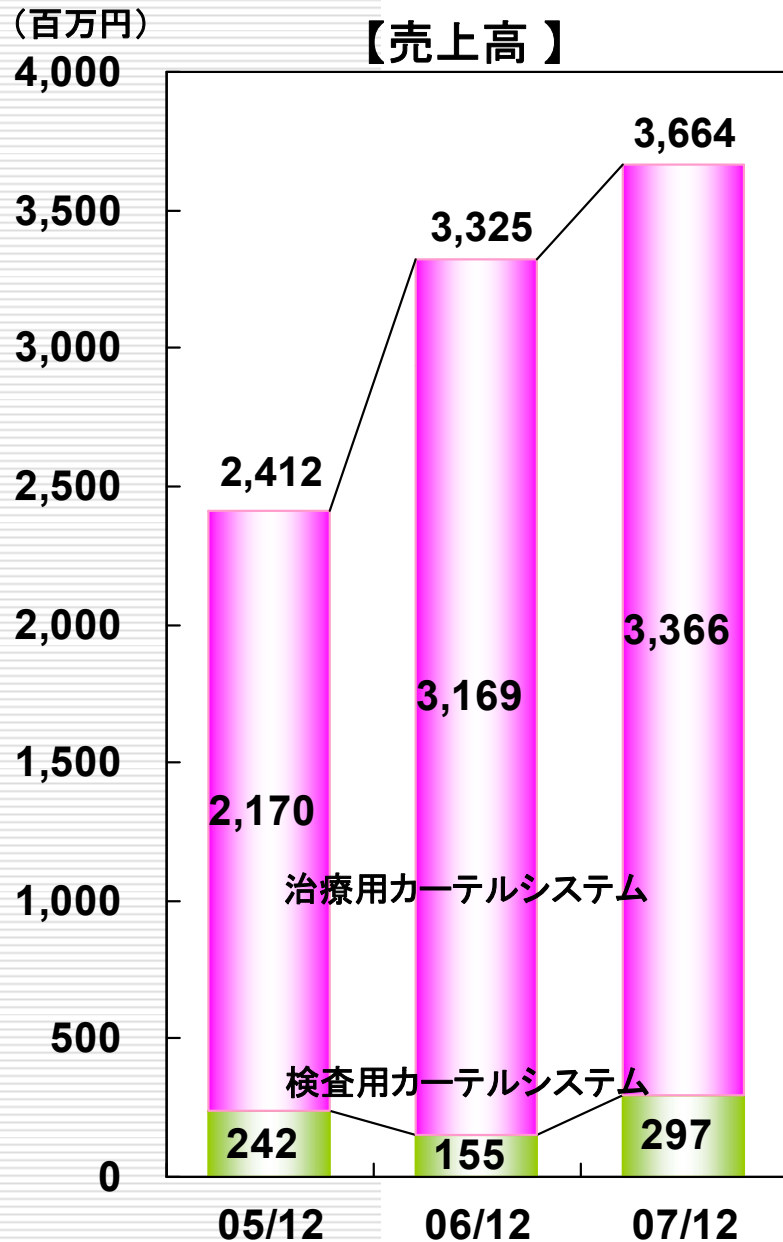
営業利益増減要因分析

(百万円)





メディカル事業の状況



■ 治療用・検査用ともに売上は増加するも、想定以上に売上原価が膨らんだことにより減益

□ 売上高3,664百万円(前年同期比10.2%増)

□ 営業利益854百万円(同25.2%減)

- ▶ タイバーツ高による製造経費の増加
- ▶ 新工場立ち上げに伴う諸経費の増加
- ▶ プラチナ価格の高騰
- ▶ アボット社向け製品の生産調整の影響

■ 治療用カテーテルシステム

□ 3,366百万円(前年同期比196百万円増、同6.2%増)

□ ガイディングカテーテルは前年同期比143.6%増

- ▶ 代理店への初期出荷に伴い取引が増加

■ 検査用カテーテルシステム

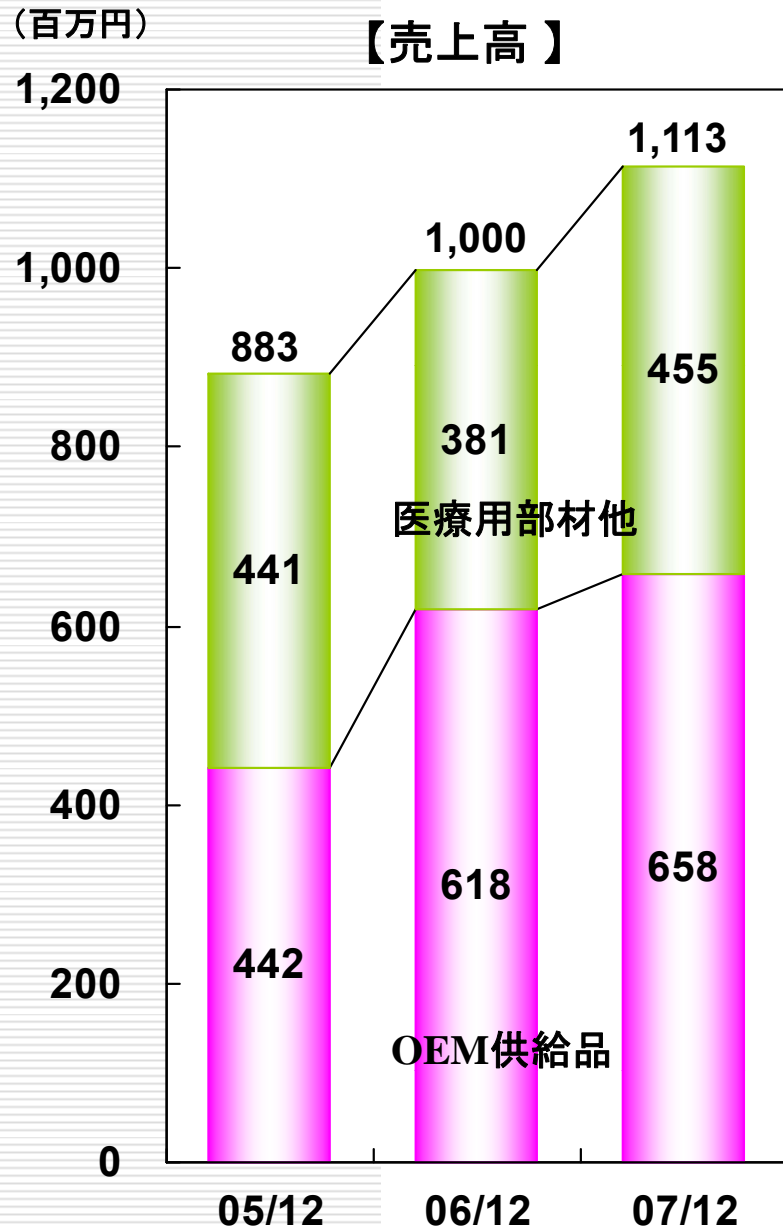
□ 297百万円(前年同期比141百万円増、同91.2%増)

□ 競合品との競争激化の影響を受けたものの増収確保

- ▶ CAGカテーテル等の国内売上が増加



メディカルデバイス事業の状況



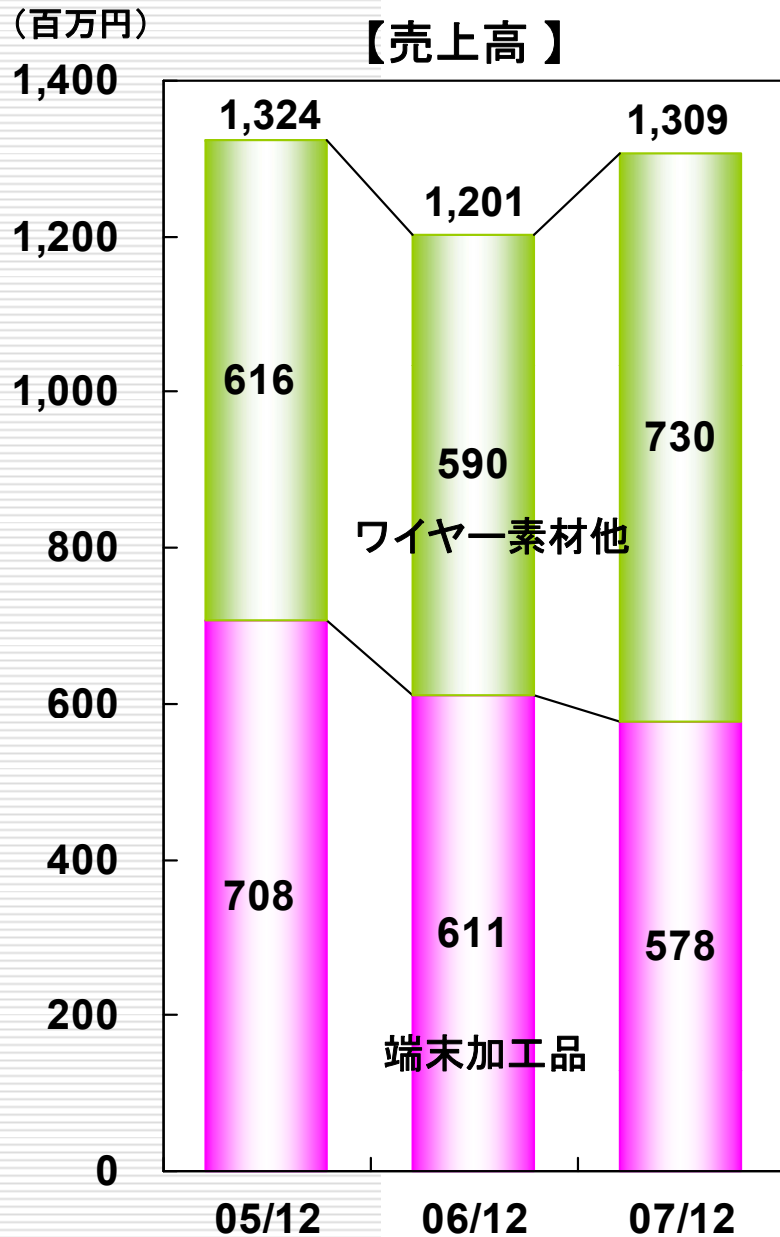
- 医療部材・OEM供給品ともに増収を維持するも、メディカル同様に製造経費の増加により大幅な減益
 - 売上高1,113百万円(前年同期比11.3%増)
 - 営業利益149百万円(同45.7%減)

- 医療用部材
 - 455百万円(前年同期比74百万円増、同19.4%増)
 - ▶ 米国市場向け心臓検査用医療機器部材の受注増加

- OEM供給品
 - 658百万円(前年同期比39百万円増、同6.4%増)
 - 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が堅調
 - ▶ 中心静脈用ガイドワイヤー、脳動脈瘤用の医療部材が増加
 - 下期予定の腹部用ガイドワイヤーのOEM取引は中止
 - ▶ Johnson & Johnsonの方針変更に伴い、脳血管系製品に対するOEM取引を前倒しする方向



インダストリアルデバイス事業の状況



- 高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力
- ステンレス鋼材価格高騰など厳しい事業環境のなか前年同期比で増収・増益
 - 売上高1,309百万円(前年同期比8.9%増)
 - 営業利益225百万円(同5.3%増)

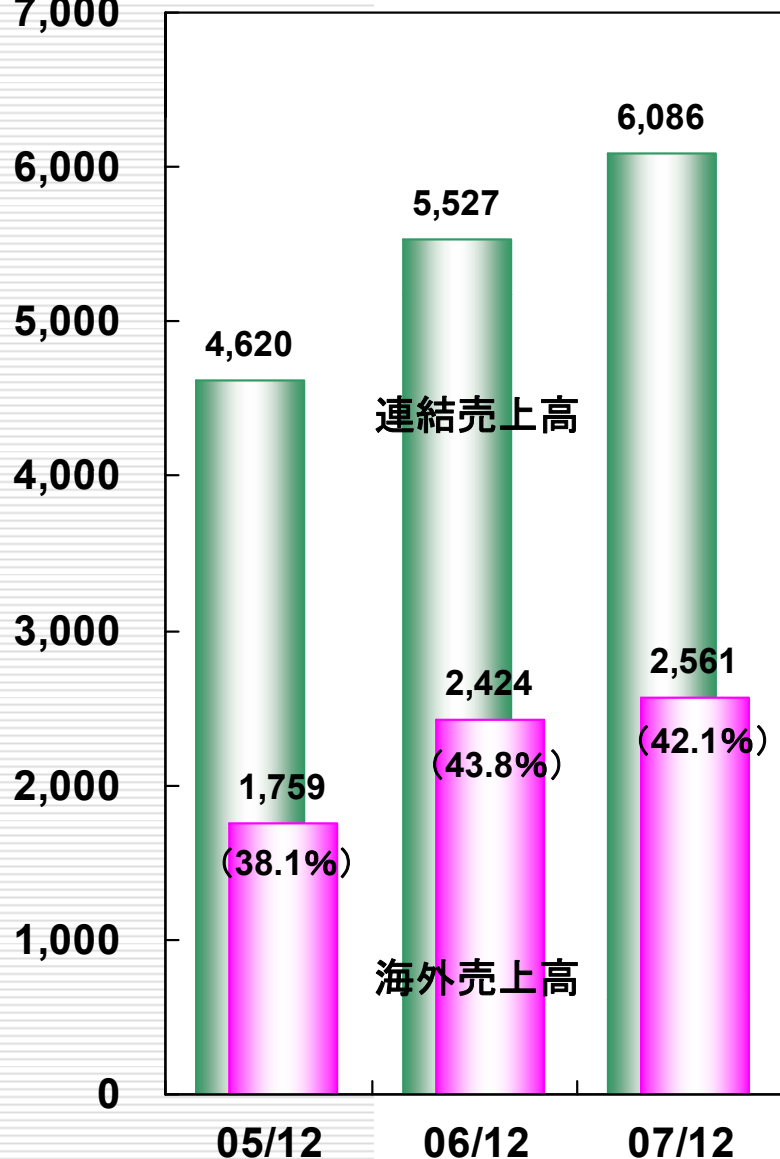
- ワイヤー素材
 - 730百万円(前年同期比140百万円増、同23.8%増)
 - 下記製品を中心に取引が増加
 - ▶ 海外大手OA機器企業向け印刷機用放電タングステンワイヤー
 - ▶ 国内企業向け製紙機械用特殊線材
 - ▶ 自動車排気ガス浄化装置製造関連製品

- 端末加工品
 - 578百万円(前年同期比33百万円減、同5.4%減)
 - OA機器関連製品全般の取引が減少
 - ▶ OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落



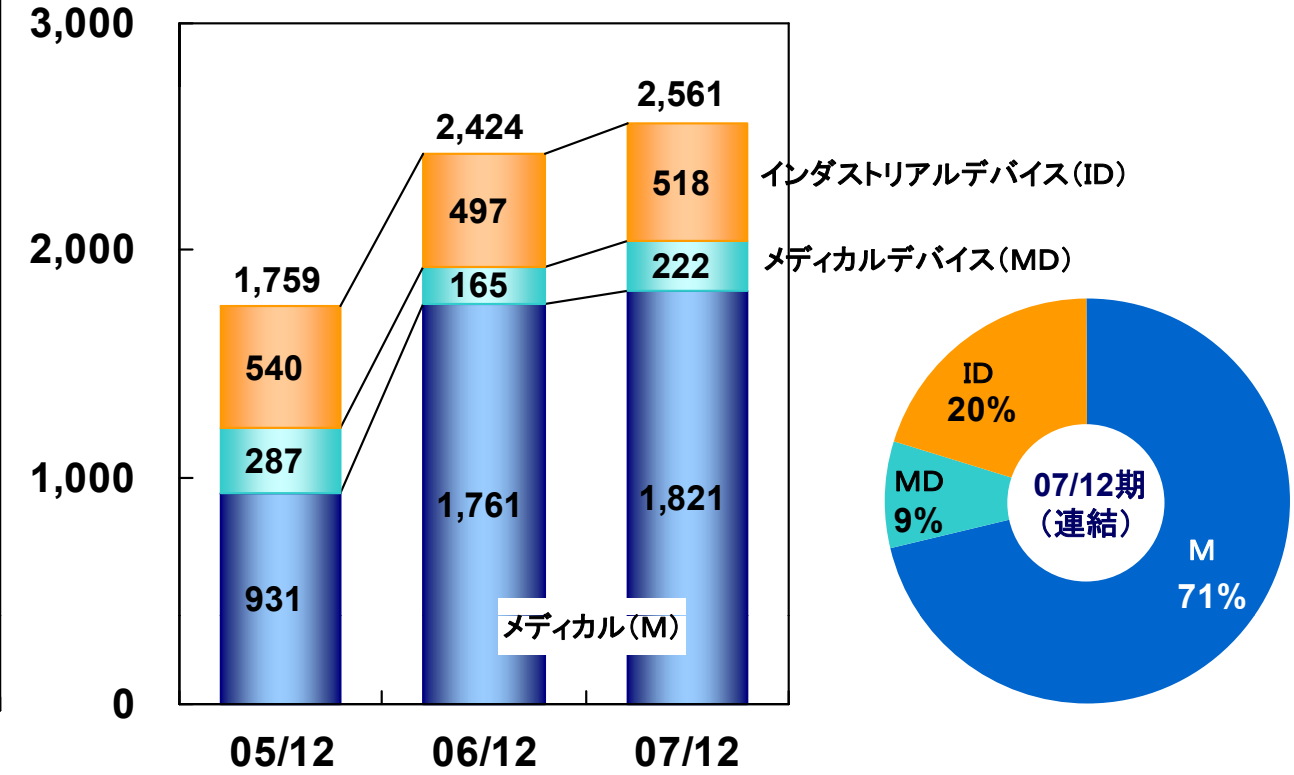
海外売上高の状況

(百万円) 【海外売上高の推移】



□ 海外売上高は137百万円増加(前期比5.7%増)
▶ 北米・アジア地域順調なるも
 アボット社との契約改定に伴う直販エリア縮小等につき
 欧州地域が減少
□ 海外売上比率は42%

(百万円) 【セグメント別海外売上高・構成比】





損益の状況(連結)

	2007年6月期 中間実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	5,527	100.0	6,086	100.0	+559	医療機器分野の増収 +452
売上原価	2,223	40.2	3,004	49.4	+780	製造経費増加、原材料価格高騰 等
売上総利益	3,303	59.8	3,082	50.6	△221	同上
販管費	2,195	39.7	2,422	39.8	+226	販促費・人件費の増加 +173
営業利益	1,108	20.1	660	10.8	△448	
営業外収益	86	1.6	47	0.8	△38	為替差益の減少 △62
営業外費用	21	0.6	54	0.9	+33	支払利息の増加 +30
経常利益	1,173	21.3	653	10.7	△519	
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	
特別損失	52	1.0	170	2.8	+117	退職給付費用の増加 +165
中間純利益	620	11.2	240	4.0	△379	



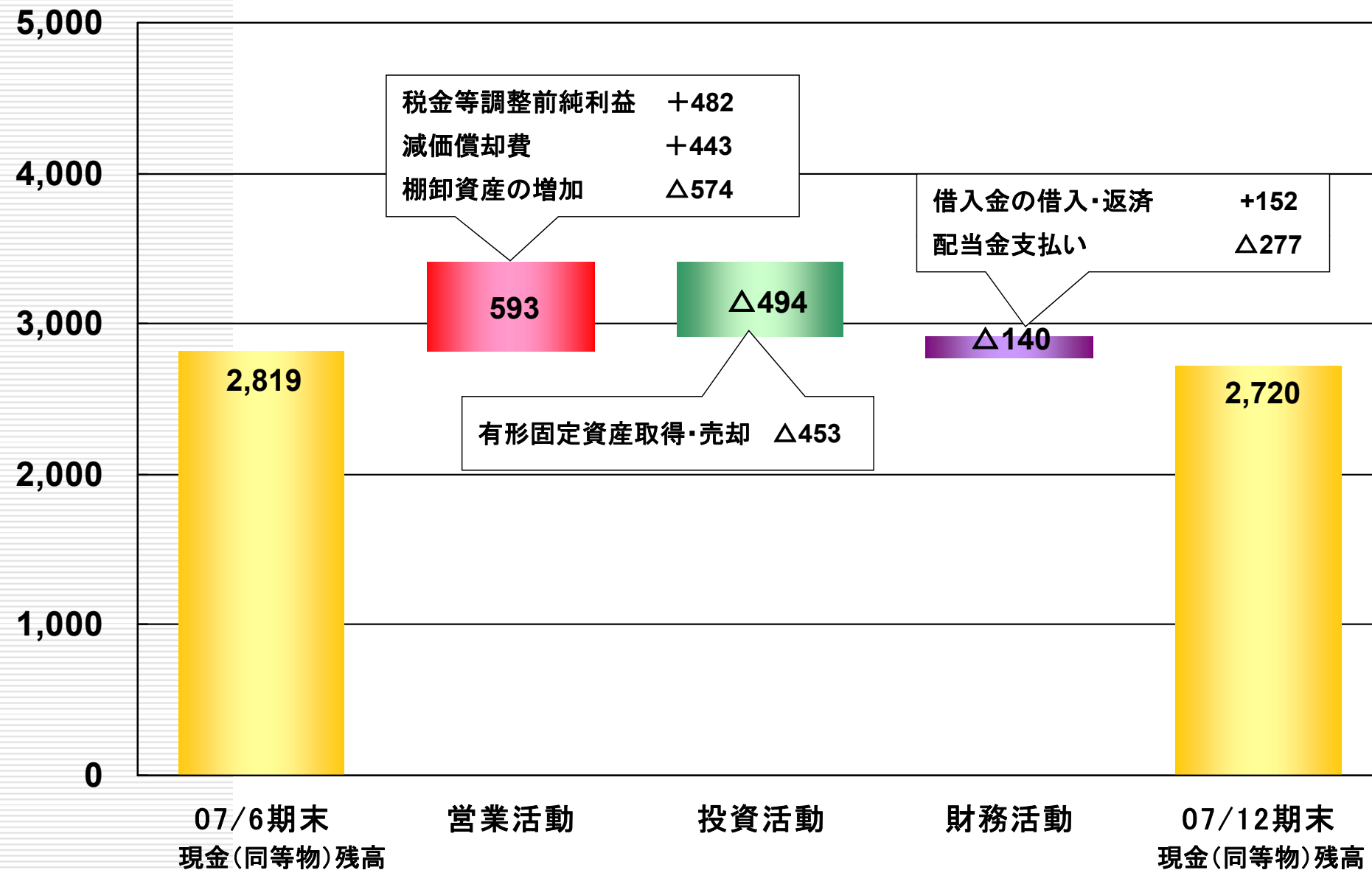
財務の状況(連結)

	2007年6月期 期末実績		2008年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,221	51.0	10,229	49.3	+1,007	現預金の減少 $\Delta 496$ 棚卸資産の増加 +1,315
固定資産	8,868	49.0	10,531	50.7	+1,662	有形固定資産の増加 +682 投資有価証券の増加 +913
資産合計	18,090	100.0	20,760	100.0	+2,669	
流動負債	3,266	18.1	3,946	19.0	+680	短期借入金の増加 +662
固定負債	2,978	16.4	4,084	19.7	+1,105	長期借入金の増加 +900
負債合計	6,244	34.5	8,030	38.7	+1,786	
純資産合計	11,846	65.5	12,729	61.3	+882	利益剰余金の増加 +501
負債・純資産合計	18,090	100.0	20,760	100.0	+2,669	



中間連結キャッシュ・フローの状況

(百万円)





1 . 2008年6月期(中間)決算の概要

2 . 2008年6月期(通期)業績見通し

3 . 業績下方修正の要因・背景について

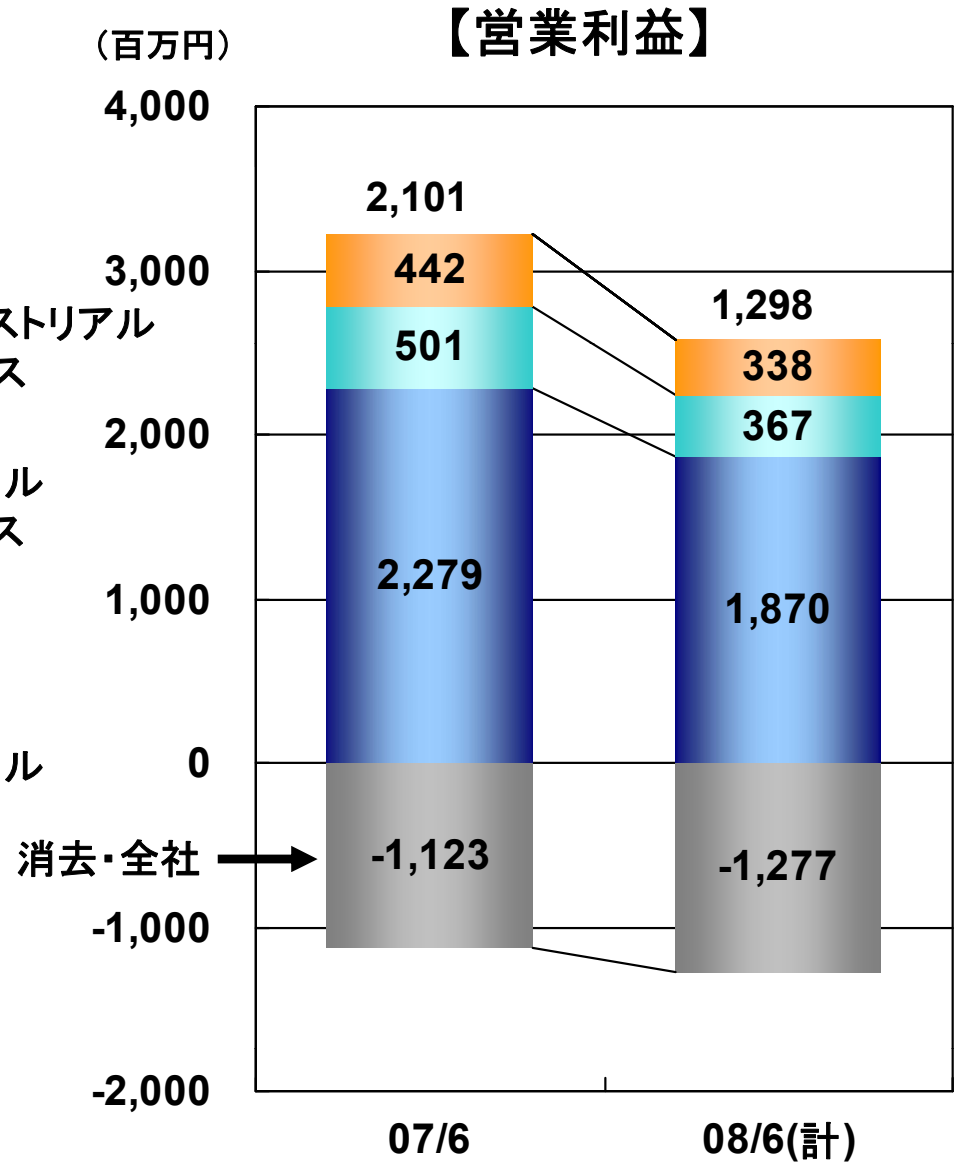
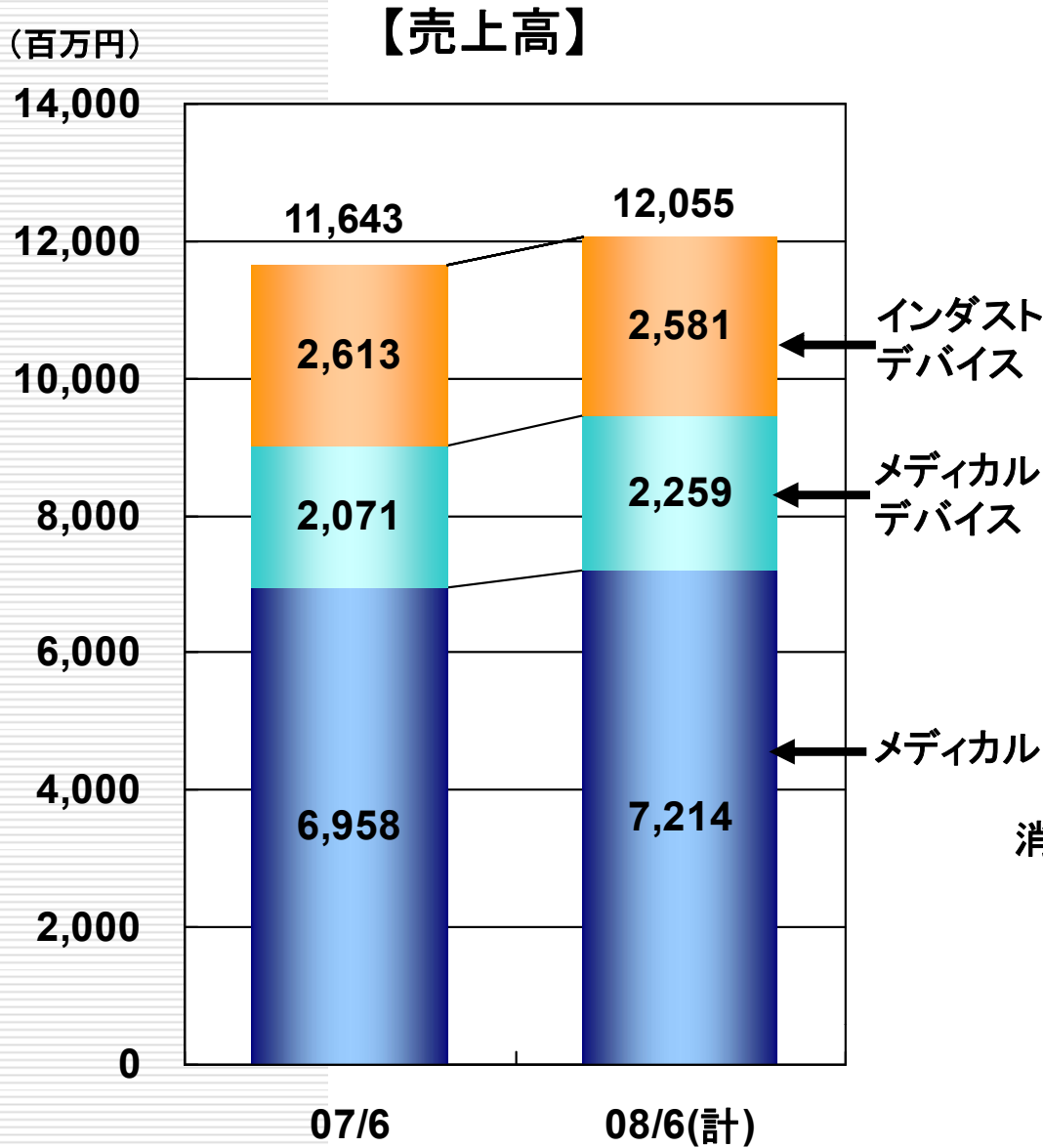


2008年6月期業績見通し(連結)

	2007年6月期(実績)		2008年6月期(計画)					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2007/8/10	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	11,643	100.0	13,450	12,055	100.0	+411	+3.5	△10.4
売上総利益	6,643	57.1	8,024	6,280	52.1	△363	△5.5	△21.7
営業利益	2,101	18.1	2,855	1,298	10.8	△803	△38.2	△54.5
経常利益	2,202	18.9	2,773	1,258	10.4	△944	△42.9	△54.6
当期純利益	1,158	10.0	1,587	769	6.4	△389	△33.6	△51.5
EPS	73.10 円	-	100.14 円	48.55 円	-			-



セグメント別の収益見通し





1 . 2008年6月期(中間)決算の概要

2 . 2008年6月期(通期)業績見通し

3 . 業績下方修正の要因・背景について



2008年6月期(下期)業績見通し

	下期 期初計画		下期 修正計画			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,282	100.0	5,975	100.0	△1,306	△17.9
メディカル	4,631	63.6	3,552	59.5	△1,078	△23.3
メディカルデバイス	1,252	17.2	1,148	19.2	△103	△8.3
インダストリアルデバイス	1,398	19.2	1,274	21.3	△123	△8.9
営業利益	1,835	25.2	648	10.9	△1,187	△64.7
メディカル	1,872	-	1,019	-	△852	△45.5
メディカルデバイス	381	-	219	-	△161	△42.4
インダストリアルデバイス	288	-	115	-	△173	△60.1
消去・全社	△706	-	△706	-	-	-



通期(下期)業績下方修正の要因について

～アボット社との取引減少に伴う売上減少及び売上総利益率の低下が主因～

■ メディカル事業

□ アボット社との2008年度取引本数減少を見越した売上の修正 及び
それに伴う利益率の低下

□ 為替動向の変化(円高US\$安)に伴う売上の減少

■ メディカルデバイス事業

□ Johnson & Johnsonの方針変更に伴い、腹部用ガイドワイヤーOEM取引中止
脳血管系製品に対するOEM取引を前倒しする方向

■ インダストリアルデバイス事業

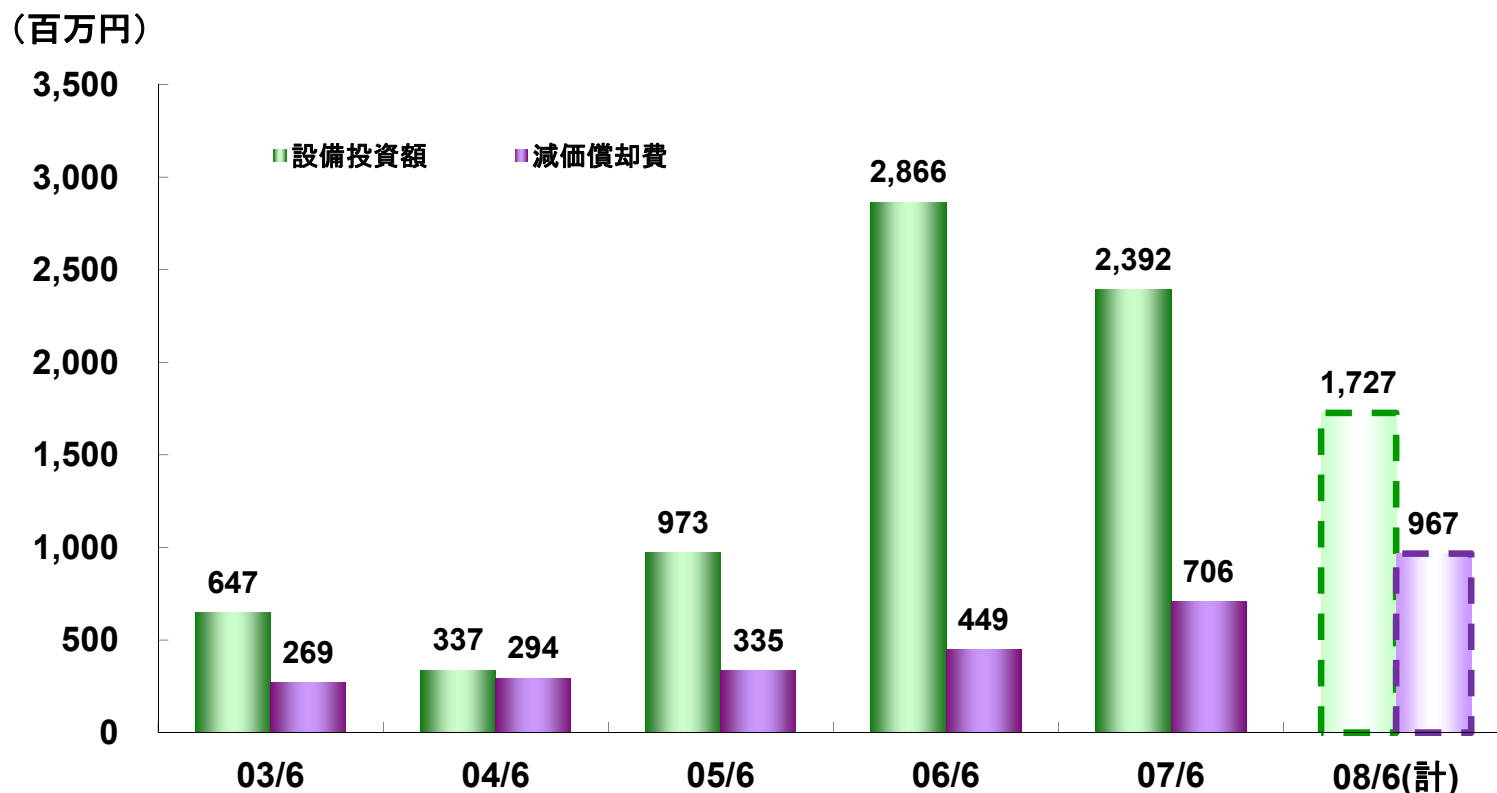
□ 主要製造業の景気悪化などに伴いOA機器製品を始めとした取引全体が減少



中期経営計画の見直しについて

■ 現行の中期経営計画について

- アボット社との協議の最終結果(戦略の転換を含む)や、事業環境の変化(PTCA治療件数の動向)を見極めたうえ、09/6期の業績計画の見直しを予定
- 設備投資計画については変更なし





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>